○EDINETタクソノミの設定規約書 新旧対照表

別紙については主要な変更点のみ、記載しています。

新

1-4-2 府令略号

各種内閣府令及び会計基準を表す略号を次の図表に示す。

図表 1-4-1 府令略号

No	内閣府令及び会計基準	略号
1	企業内容等の開示に関する内閣府令	crp
2	財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制に関する内閣府令	ctl
3	特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令	sps
4	発行者以外の者による株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令	too
5	発行者による上場株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令	toi
6	株券等の大量保有の状況の開示に関する内閣府令	lvh
7	財務諸表等の監査証明に関する内閣府令	aud
8	日本基準財務諸表のうち本表に係る部分	pfs
9	IFRS 財務諸表	igp

旧

1-4-2 府令略号

各種内閣府令及び規則を表す略号を次の図表に示す。

図表 1-4-1 府令略号

No	内閣府令及び規則	略号
1	企業内容等の開示に関する内閣府令	crp
2	財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制に関する内閣府令	ctl
3	特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令	sps
4	発行者以外の者による株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令	too
5	発行者による上場株券等の公開買付けの開示に関する内閣府令	toi
6	株券等の大量保有の状況の開示に関する内閣府令	lvh
7	財務諸表等の監査証明に関する内閣府令	aud
8	財務諸表等規則等のうち財務諸表本表に係る部分	pfs
（追加）		

新	旧
1-4-10 科目一覧 科目一覧を表す略号について次の図表に示す。 **図表 1-4-11 科目一覧** No / 科目一覧 / 略号 1 / 科目一覧 / cm	**（追加）**

新

1-4-11 諸表略号

財務諸表本表を表す略号について次の図表に示す。

図表 1-4-12 諸表略号

No	財務諸表本表	略号
1	貸借対照表	bs
2	損益計算書又は損益及び包括利益計算書	pl
3	包括利益計算書	ci
4	株主資本等変動計算書	ss
5	キャッシュ・フロー計算書	cf

※:各表の名称は業種、会計基準の違い又は提出者ごとに上記と異なることがあります。

旧

1-4-10 諸表略号

財務諸表本表を表す略号について次の図表に示す。

図表 1-4-11 諸表略号

No	財務諸表本表	略号
1	貸借対照表	bs
2	損益計算書又は損益及び包括利益計算書	pl
3	包括利益計算書	ci
4	株主資本等変動計算書	ss
5	キャッシュ・フロー計算書	cf

新

2-2-2 各種宣言

（１）～（６）　（略）

（７）名前空間宣言

名前空間宣言について、「**図表 2-2-3 語彙スキーマの名前空間宣言**」から「**図表 2-2-7 エントリーポイントの名前空間宣言**」までに示す。なお、不要な名前空間宣言は、行わない。

（略）

図表 2-2-7 エントリーポイントの名前空間宣言

No	エントリーポイント	プレフィックス	URI
1	ルートエントリーポイント	entryPoint_all_{タクソノミ日付}	all_{タクソノミ日付} ※1
2	様式別エントリーポイント	entryPoint_jp{府令略号}{様式番号}-{報告書略号}_{タクソノミ日付}	jp{府令略号}{様式番号}-{報告書略号}_{タクソノミ日付} ※1
3	財務諸表本表タクソノミ業種別エントリーポイント	entryPoint_jppfs_{業種略号}_{タクソノミ日付}	jppfs_{業種略号}_{タクソノミ日付} ※1
4	DEI エントリーポイント	entryPoint_jpdei_{タクソノミ日付}	jpdei_{タクソノミ日付} ※1
5	国際会計基準タクソノミ_エントリーポイント	entryPoint_jpigp_{タクソノミ日付}	jpigp_{タクソノミ日付} ※1

※1：URI は「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/samples/」に続く名称のみを記載する。

※1：URI は「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/samples/」に続く名称のみを記載する。

旧

2-2-2 各種宣言

（１）～（６）　（略）

（７）名前空間宣言

名前空間宣言について、「**図表 2-2-3 語彙スキーマの名前空間宣言**」から「**図表 2-2-7 エントリーポイントの名前空間宣言**」までに示す。なお、不要な名前空間宣言は、行わない。

（略）

図表 2-2-7 エントリーポイントの名前空間宣言

No	エントリーポイント	プレフィックス	URI
1	ルートエントリーポイント	entryPoint_all_{タクソノミ日付}	all_{タクソノミ日付} ※1
2	様式別エントリーポイント	entryPoint_jp{府令略号}{様式番号}-{報告書略号}_{タクソノミ日付}	jp{府令略号}{様式番号}-{報告書略号}_{タクソノミ日付} ※1
3	業種別財務諸表本表エントリーポイント	entryPoint_jppfs_{業種略号}_{タクソノミ日付}	jppfs_{業種略号}_{タクソノミ日付} ※1
4	DEI エントリーポイント	entryPoint_jpdei_{タクソノミ日付}	jpdei_{タクソノミ日付} ※1
（追加）			

※1：URI は「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/samples/」に続く名称のみを記載する。

新

3-2-2 要素

（１）　（略）

（２）特定の用途を持つ要素の設定値

①～⑥　（略）

⑦連番を付与する項目

連番による要素追加（英語冗長ラベルのユニーク性を確保するための連番付与は除く。『フレームワーク設計書』の「3-4-2 連番による要素追加」を参照）において要素名又は冗長ラベルを一意とするためには、次の図表のとおり連番を付与する。

図表 3-2-28 連番要素

項目	命名規約
name	{文字列(英語)}{1 から始まる半角数字}
type	要素の概念から判断
substitutionGroup	要素の概念から判断
periodType	要素の概念から判断
balance	要素の概念から判断
abstract	要素の概念から判断
日本語冗長ラベル	{文字列(日本語)}-{1 から始まる半角数字}
英語冗長ラベル	{文字列(英語)}-{1 から始まる半角数字}

⑧付与情報の順番

特定の用途を持つ要素に対して、要素名や冗長ラベルの末尾に付与する情報の順番について次の図表に示す。付与すべき情報が複数ある場合、優先度 1 を最後尾に、また、優先度 2 以下を順次その直前に付与する。

図表 3-2-29 付与情報の順番

優先度	用途種別
優先度 1	目次項目、タイトル項目、テキストブロック、表、軸、メンバー、表示項目
優先度 2	連番
優先度 3	NA（該当なし）、IFRS（IFRS 財務諸表）
優先度 4	表紙、DEI、業種

旧

3-2-2 要素

（１）　（略）

（２）特定の用途を持つ要素の設定値

①～⑥　（略）

⑦連番を付与する項目

要素名又は冗長ラベルが重複した際に、それを一意とするために次の図表のとおり連番を付与する。ただし、日本語冗長ラベルが連番を付与することなく一意となる場合は、日本語冗長ラベルに連番を付与しない。

図表 3-2-28 連番要素

項目	命名規約
name	{文字列(英語)}{1 から始まる半角数字}
type	要素の概念から判断
substitutionGroup	要素の概念から判断
periodType	要素の概念から判断
balance	要素の概念から判断
abstract	要素の概念から判断
日本語冗長ラベル	{文字列(日本語)}-{1 から始まる半角数字}
英語冗長ラベル	{文字列(英語)}-{1 から始まる半角数字}

⑧付与情報の順番

特定の用途を持つ要素に対して、要素名や冗長ラベルの末尾に付与する情報の順番について次の図表に示す。付与すべき情報が複数ある場合、優先度 1 を最後尾に、また、優先度 2 以下を順次その直前に付与する。

図表 3-2-29 付与情報の順番

優先度	用途種別
優先度 1	目次項目、タイトル項目、テキストブロック、表、軸、メンバー、表示項目
優先度 2	連番
優先度 3	NA（該当なし）
優先度 4	表紙、DEI、業種

新

3-2-5 拡張リンクロール

（１）EDINET タクソノミの拡張リンクロール

（略）

図表 3-2-35 関係リンクの拡張リンクロール

項目	命名規約
roleID	rol_{std ｜ 業種略号}_{ルート要素名(Abstract と Heading を除いたもの)}(-{修飾語})(-{連番 2 桁}) ※1
roleURI	rol_{std ｜ 業種略号}_{ルート要素名(Abstract と Heading を除いたもの)}(-{修飾語})(-{連番 2 桁}) ※1,2
Definition	({ELR 番号}){ルート要素の日本語冗長ラベルを基礎とした名称} ※3
generic Label	({ELR 番号}){ルート要素の英語冗長ラベルを基礎とした名称} ※3
usedOn	presentationLink、calculationLink、definitionLink、footnoteLink
宣言箇所	語彙層の分割単位ごとのロールタイプスキーマ

※1：一つの目次項目が複数の詳細ツリーに関連を持つ場合、roleID 及び roleURI の末尾に「-01」から始まる連番を付与する。また、複数の拡張リンクロールのルート要素が同一となる場合は、適切な修飾語を付与する。

（例）キャッシュ・フロー計算書（直接法又は間接法）

直接法の場合：rol_std_StatementOfCashFlows-direct

間接法の場合：rol_std_StatementOfCashFlows-indirect

※2：roleURI は「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/role/jp{府令略号|dei}(-{報告書略号})/」に続く名称のみを記載する。

※3：ELR 番号については、『フレームワーク設計書』の「3-3-5 関係リンクの拡張リンクロールに設定される番号」を参照。

（２）開示書類等提出者用の拡張リンクロール

提出者別タクソノミで使用する拡張リンクロールの命名規約について次の図表に示す。

図表 3-2-36 開示書類等提出者用の拡張リンクロール

項目	命名規約
roleID	rol_{ルート要素名(Abstract と Heading を除いたもの)}(-{修飾語})(-{連番 2 桁}) ※1
roleURI	rol_{ルート要素名(Abstract と Heading を除いたもの)}(-{修飾語})(-{連番 2 桁}) ※1,2
Definition	({ELR 番号}){ルート要素の日本語冗長ラベルを基礎とした名称} ※3
generic Label	({ELR 番号}){ルート要素の英語冗長ラベルを基礎とした名称} ※3
usedOn	presentationLink、calculationLink、definitionLink、footnoteLink
宣言箇所	語彙スキーマごとのロールタイプスキーマ

※1：一つの目次項目から複数の詳細ツリーにひも付く場合、roleID 及び roleURI の末尾に「-01」から始まる連番を付与する。また、複数の拡張リンクロールのルート要素が業務上同一となる場合は、roleID 及び roleURI に適切な修飾語を付与する。また、提出者用の拡張リンクロールのみを用意し、対応する EDINET タクソノミの関係リンクのルート要素が特定できない場合も、ルート要素として通常利用される EDINET タクソノミの要素を基に命名する。

※2：roleURI は「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/role/jp{府令略号|dei}(-{報告書略号})/」に続く名称のみを記載する。

※3：ELR 番号については、『フレームワーク設計書』の「3-3-5 関係リンクの拡張リンクロールに設定される番号」を参照。

旧

3-2-5 拡張リンクロール

（１）EDINET タクソノミの拡張リンクロール

（略）

図表 3-2-35 関係リンクの拡張リンクロール

項目	命名規約
roleID	rol_{std ｜ 業種略号}_{ルート要素名(Abstract と Heading を除いたもの)}(-{修飾語})(-{連番 2 桁}) ※1
roleURI	rol_{std ｜ 業種略号}_{ルート要素名(Abstract と Heading を除いたもの)}(-{修飾語})(-{連番 2 桁}) ※1,2
definition	{ルート要素の日本語冗長ラベル([タイトル項目]と[目次項目]を除いたもの)}(、{修飾語})
generic Label	{ルート要素の英語冗長ラベル([abstract]と[heading]を除いたもの)}(-{修飾語})
usedOn	presentationLink、calculationLink、definitionLink、footnoteLink
宣言箇所	語彙層の分割単位ごとのロールタイプスキーマ

※1：一つの目次項目が複数の詳細ツリーに関連を持つ場合、roleID 及び roleURI の末尾に「-01」から始まる連番を付与する。また、複数の拡張リンクロールのルート要素が業務上同一となる場合は、適切な修飾語を付与する。

（例）キャッシュ・フロー計算書（直接法又は間接法）

直接法の場合：rol_std_StatementOfCashFlows-direct

間接法の場合：rol_std_StatementOfCashFlows-indirect

※2：roleURI は「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/role/jp{府令略号|dei}(-{報告書略号})/」に続く名称のみを記載する。

（追加）

（２）開示書類等提出者用の拡張リンクロール

提出者別タクソノミで使用する拡張リンクロールの命名規約について次の図表に示す。

図表 3-2-36 開示書類等提出者用の拡張リンクロール

項目	命名規約
roleID	rol_{ルート要素名(Abstract と Heading を除いたもの)}(-{修飾語})(-{連番 2 桁}) ※1
roleURI	rol_{ルート要素名(Abstract と Heading を除いたもの)}(-{修飾語})(-{連番 2 桁}) ※1,2
definition	{ルート要素の日本語冗長ラベル([タイトル項目]と[目次項目]を除いたもの)}(-{連番 2 桁})
generic Label	{ルート要素の英語冗長ラベル([abstract]と[heading]を除いたもの)}(-{連番 2 桁})
usedOn	presentationLink、calculationLink、definitionLink、footnoteLink
宣言箇所	語彙スキーマごとのロールタイプスキーマ

※1：一つの目次項目から複数の詳細ツリーに紐付く場合、roleID、roleURI、definition 及び generic Label の末尾に「-01」から始まる連番を付与する。また、複数の拡張リンクロールのルート要素が業務上同一となる場合は、roleID 及び roleURI に適切な修飾語を付与する。

※2：roleURI は「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/role/jp{府令略号|dei}(-{報告書略号})/」に続く名称のみを記載する。

（追加）

新

（３）ラベルロール

EDINET タクソノミで定義するラベルロールの命名規約について次の図表に示す。

図表 3-2-37 業種・財務諸表種類別ラベルロール

項目	命名規約
roleID	rol_({業種略号})(Consolidated)Label ※1
roleURI	jppfs(/{業種略号})(/Consolidated)/role/label ※1,2
definition	({業種名})(連結財務諸表)標準ラベル ※3
usedOn	label
宣言箇所	財務諸表本表タクソノミのロールタイプスキーマ

※１:「Consolidated」は必要に応じて「ConsolidatedInterim」、「ConsolidatedQuarterly」、「NonConsolidated」、「NonConsolidatedInterim」又は「NonConsolidatedQuarterly」に読み替える。また、「label」は必要に応じて「verboseLabel」、「documentation」、「totalLabel」、「positiveLabel」、「negativeLabel」、「periodStartLabel」又は「periodEndLabel」に読み替える。

※2:roleURI は、「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/」に続くロールの名称のみを記載する。

※3:「連結財務諸表」は必要に応じて「中間連結財務諸表」、「四半期連結財務諸表」、「財務諸表」、「中間財務諸表」又は「四半期財務諸表」に読み替える。また、「標準ラベル」は必要に応じて「冗長ラベル」、「ドキュメンテーション」、「合計ラベル」、「正値ラベル」、「負値ラベル」、「期首ラベル」又は「期末ラベル」に読み替える。

図表 3-2-38 セグメントラベルロール

項目	命名規約
roleID	rol_SegmentLabel
roleURI	jpcrp/Segment/role/label ※1
definition	セグメント 標準ラベル
usedOn	label
宣言箇所	開示府令タクソノミのロールタイプスキーマ

※1： roleURI は、「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/」に続くロールの名称のみを記載する。

図表 3-2-39 代替ラベルロール

項目	命名規約
roleID	rol(_std)_alt(連番)(Consolidated)Label ※1
roleURI	jpcrp(/std)/alt(連番)(/Consolidated)/role/label ※1,2
definition	{提出者用|EDINET タクソノミ用} (連結財務諸表)代替 標準ラベル（連番）※3
usedOn	label
宣言箇所	開示府令タクソノミのロールタイプスキーマ

※1:「_std」は、EDINET タクソノミ用代替ラベルの場合に付し、提出者用代替ラベルの場合には付さない。また、「Consolidated」は必要に応じて「ConsolidatedInterim」、「ConsolidatedQuarterly」、「NonConsolidated」、「NonConsolidatedInterim」又は「NonConsolidatedQuarterly」に読み替える。また、(連番)は重複する代替ラベルについて二番目以降に 2,3,4・・・と付与する。また、「label」は必要に応じて「totalLabel」、「positiveLabel」、「negativeLabel」、「periodStartLabel」又は「periodEndLabel」に読み替える。

※2:roleURI は、「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/」に続くロールの名称のみを記載する。

※3:「連結財務諸表」は必要に応じて「中間連結財務諸表」、「四半期連結財務諸表」、「財務諸表」、「中間財務諸表」又は「四半期財務諸表」に読み替える。また、「標準ラベル」は必要に応じて、「合計ラベル」、「正値ラベル」、「負値ラベル」、「期首ラベル」又は「期末ラベル」に読み替える。

旧

（３）ラベルロール

EDINET タクソノミで定義するラベルロールの命名規約について次の図表に示す。

図表 3-2-37 ラベルロール

項目	命名規約
roleID	rol_({業種略号})(Consolidated)Label ※1
roleURI	jppfs(/{業種略号})(/Consolidated)/role/label ※1,2
definition	({業種名})(連結財務諸表)標準ラベル ※3
usedOn	label
宣言箇所	財務諸表本表タクソノミのロールタイプスキーマ

※1:「Consolidated」は必要に応じて「ConsolidatedInterim」、「ConsolidatedQuarterly」、「NonConsolidatedInterim」又は「NonConsolidatedQuarterly」に読み替える。また、「label」は必要に応じて「verboseLabel」、「documentation」、「totalLabel」、「positiveLabel」、「negativeLabel」、「periodStartLabel」又は「periodEndLabel」に読み替える。

※2:roleURI は、「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/」に続くロールの名称のみを記載する。

※3:「連結財務諸表」は必要に応じて「中間連結財務諸表」、「四半期連結財務諸表」、「中間財務諸表」又は「四半期財務諸表」に読み替える。また、「標準ラベル」は必要に応じて「冗長ラベル」、「ドキュメンテーション」、「合計ラベル」、「正値ラベル」、「負値ラベル」、「期首ラベル」又は「期末ラベル」に読み替える。

(追加)

新

3-2-6 名称リンク

名称リンクで使用するラベルロールについて「**図表 3-2-40 XII で定義されたラベルロール**」及び「**図表 3-2-41 EDINET 固有のラベルロール**」に示す。各ラベルロールにラベルを設定する場合、日本語及び英語の両方を設定することとする。ただし、ドキュメンテーションラベルは、主として要素の使用に関するガイダンスを日本語ラベルに設定しその内容が XBRL データとして利用される場合、英語ラベルも設定する。そのほかにも、有用と思われる情報の設定に用いる。

図表 3-2-40 XII で定義されたラベルロール

（略）

図表 3-2-41 EDINET 固有のラベルロール

No	ラベルロール	説明
1	jppfs/{業種略号}/role/label	業種固有（財務諸表の区分なし）のラベル
2	jppfs(/{業種略号})/Consolidated/role/label	（全業種又は業種固有の）連結財務諸表用のラベル
3	jppfs(/{業種略号})/ConsolidatedInterim/role/label	（全業種又は業種固有の）中間連結財務諸表用のラベル
4	jppfs(/{業種略号})/ConsolidatedQuarterly/role/label	（全業種又は業種固有の）四半期連結財務諸表用のラベル
5	jppfs(/{業種略号})/NonConsolidated/role/label	（全業種又は業種固有の）単独通期の財務諸表用のラベル
6	jppfs(/{業種略号})/NonConsolidatedInterim/role/label	（全業種又は業種固有の）中間財務諸表用のラベル
7	jppfs(/{業種略号})/NonConsolidatedQuarterly/role/label	（全業種又は業種固有の）四半期財務諸表用のラベル
8	jpcrp/Segment/role/label	セグメント用のラベル
9	jpcrp(/std)/alt(連番)/role/label	財務諸表の区分なしの代替ラベル(提出者用又はEDINETタクソノミ用。以下、本図表中の代替ラベルについて同じ。)
10	jpcrp(/std)/alt/Consolidated/role/label	連結財務諸表の代替ラベル
11	jpcrp(/std)/alt/ConsolidatedInterim/role/label	中間連結財務諸表用の代替ラベル
12	jpcrp(/std)/alt/ConsolidatedQuarterly/role/label	四半期連結財務諸表用の代替ラベル
13	jpcrp(/std)/alt/NonConsolidated/role/label	単独通期の財務諸表の代替ラベル
14	jpcrp(/std)/alt/NonConsolidatedInterim/role/label	中間財務諸表用の代替ラベル
15	jpcrp(/std)/alt/NonConsolidatedQuarterly/role/label	四半期財務諸表用の代替ラベル

（注）本図表のラベルロールは、「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/」に続くロールの名称のみを記載する。また、「label」は必要に応じて「verboseLabel」、「documentation」、「totalLabel」、「positiveLabel」、「negativeLabel」、「periodStartLabel」又は「periodEndLabel」に読み替える。
EDINET タクソノミ用代替ラベルロールは、EDINET タクソノミにおいて現に利用される範囲内で設定する。

旧

3-2-6 名称リンク

名称リンクで使用するラベルロールについて「**図表 3-2-38 XII で定義されたラベルロール**」及び「**図表 3-2-39 EDINET 固有のラベルロール**」に示す。各ラベルロールにラベルを設定する場合、日本語及び英語の両方を設定することとする。ただし、ドキュメンテーションラベルは、主として要素の使用に関するガイダンスを日本語ラベルに設定しその内容が XBRL データとして利用される場合、英語ラベルも設定する。そのほかにも、有用と思われる情報の設定に用いる。

図表 3-2-38 XII で定義されたラベルロール

（略）

図表 3-2-39 EDINET 固有のラベルロール

No	ラベルロール	説明
1	jppfs/{業種略号}/role/label ※1	業種固有（財務諸表の区分なし）のラベル
2	jppfs(/{業種略号})/Consolidated/role/label ※1	（全業種又は業種固有の）連結財務諸表用のラベル
3	jppfs(/{業種略号})/ConsolidatedInterim/role/label ※1	（全業種又は業種固有の）中間連結財務諸表用のラベル
4	jppfs(/{業種略号})/ConsolidatedQuarterly/role/label ※1	（全業種又は業種固有の）四半期連結財務諸表用のラベル
（追加）		
5	jppfs(/{業種略号})/NonConsolidatedInterim/role/label ※1	（全業種又は業種固有の）中間財務諸表用のラベル
6	jppfs(/{業種略号})/NonConsolidatedQuarterly/role/label ※1	（全業種又は業種固有の）四半期財務諸表用のラベル
（追加）		

※1：「http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/」に続くロールの名称のみを記載する。また、「label」は必要に応じて「verboseLabel」、「documentation」、「totalLabel」、「positiveLabel」、「negativeLabel」、「periodStartLabel」又は「periodEndLabel」に読み替える。
（追加）

新

3-3-1 関係層のファイル

EDINET タクソノミの関係層に当たる各種ファイル名の命名規約について「図表 3-3-1 表示リンクベースファイル名」、「図表 3-3-2 定義リンクベースファイル名」及び「図表 3-3-3 計算リンクベースファイル名」に示す。

図表 3-3-1 表示リンクベースファイル名

項目	命名規約
内閣府令(※1)	jp{府令略号}(-{報告書略号}).{連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_pre.xml ※2
財務諸表本表(※3)	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}).{タクソノミ日付}_pre_{諸表略号}(-{di|in}).xml ※4
パターンファイル	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}).{タクソノミ日付}_pre_{諸表略号}(-{di|in})-{パターン略号}.xml
様式ツリー	jp{府令略号}{様式番号}-{報告書略号}_{タクソノミ日付}_pre.xml

※1:財務諸表注記事項も同様。

※2:{連番 6 桁}は、関係層の分割単位ごとに「000100」から開始し、100 ずつ増加する。また、{追番 3 桁}は、「000」を原則付与するが、同一目次に複数の詳細ツリーがひも付く場合は、「001」から詳細ツリーの連番と同じ連番を付与する。ただし、ファイル作成時点で拡張リンクロールに『フレームワーク設計書 3-3-5 関係リンクの拡張リンクロールに設定される番号』で規定される各拡張リンクロール番号が設定済みの場合は当該番号と一致させ、一意名とならない場合は追番 3 桁を付与する。

※3:IFRS 財務諸表の場合、jppfs が jpigp となる点を除き同様。

※4:di/in は、日本基準のキャッシュ・フロー計算書における直接法(direct)／間接法(indirect)の区別を表す(IFRS のキャッシュ・フロー計算書については、当該区分は不要。)。

図表 3-3-2 定義リンクベースファイル名

項目	命名規約
内閣府令(※1)	jp{府令略号}(-{報告書略号}).{連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_def.xml ※2
財務諸表本表(※3)	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}).{タクソノミ日付}_def_{諸表略号}(-{di|in}).xml ※4
パターンファイル	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}).{タクソノミ日付}_def_{諸表略号}(-{di|in})-{パターン略号}.xml ※4
科目一覧ツリー	jppfs_{業種略号}_{科目一覧}_{タクソノミ日付}_def_{諸表略号}(-{cu|lq}).xml ※5
DEI(様式共通)	jpdei_{連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_def.xml ※1
DEI(大量保有報告書)	jplvh-dei_{連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_def.xml ※1
DEI(みなし有価証券届出書)	jpsps-dei_{連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_def.xml ※1

※1:財務諸表注記事項(日本基準、IFRS ともに)も同様。IFRS 財務諸表注記事項の科目一覧ツリーも同様。

※2:{連番 6 桁}は、関係層の分割単位ごとに「000100」から開始し、100 ずつ増加することを基本とする。ただし、定義リンクと同等の構造が表示リンクベースファイルに定義されている場合や拡張リンクロール番号が設定されている場合は、定義リンクベースファイルの連番を表示リンクベースファイルの規約に合わせる。また、{追番 3 桁}は、「000」を原則付与するが、同一目次に複数の詳細ツリーが関連する場合は、「001」から詳細ツリーの連番と同じ連番を付与する。

※3:IFRS 財務諸表の場合、jppfs が jpigp となる点を除き同様。

※4:di/in は、日本基準のキャッシュ・フロー計算書における直接法(direct)／間接法(indirect)の区別を表す(IFRS のキャッシュ・フロー計算書については、当該区分は不要。)。

※5:IFRS 財務諸表の場合、jppfs が jpigp となる。cu/lq は、IFRS の財政状態計算書科目一覧における流動・非流動区分

旧

3-3-1 関係層のファイル

EDINET タクソノミの関係層に当たる各種ファイル名の命名規約について「図表 3-3-1 表示リンクベースファイル名」、「図表 3-3-2 定義リンクベースファイル名」及び「図表 3-3-3 計算リンクベースファイル名」に示す。

図表 3-3-1 表示リンクベースファイル名

項目	命名規約
内閣府令	jp{府令略号}(-{報告書略号}).{連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_pre.xml ※1
財務諸表本表	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}).{タクソノミ日付}_pre_{諸表略号}(-{di|in}).xml
パターンファイル	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}).{タクソノミ日付}_pre_{諸表略号}(-{di|in})-{パターン略号}.xml
様式ツリー	jp{府令略号}{様式番号}-{報告書略号}_{タクソノミ日付}_pre.xml

(追加)

※1:{連番 6 桁}は、関係層の分割単位ごとに「000100」から開始し、100 ずつ増加する。また、{追番 3 桁}は、「000」を原則付与するが、同一目次に複数の詳細ツリーが紐付く場合は、「001」から詳細ツリーの連番と同じ連番を付与する。

(追加)

(追加)

図表 3-3-2 定義リンクベースファイル名

項目	命名規約
内閣府令	jp{府令略号}(-{報告書略号}).{連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_def.xml ※1
財務諸表本表	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}).{タクソノミ日付}_def_{諸表略号}(-{di|in}).xml
パターンファイル	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}).{タクソノミ日付}_def_{諸表略号}(-{di|in})-{パターン略号}.xml
科目一覧ツリー	jppfs_{業種略号}_cm_{タクソノミ日付}_def_{諸表略号}.xml
DEI(様式共通)	jpdei_{連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_def.xml ※1
DEI(大量保有報告書)	jplvh-dei_{連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_def.xml ※1
DEI(みなし有価証券届出書)	jpsps-dei_{連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_def.xml ※1

(追加)

※1:{連番 6 桁}は、関係層の分割単位ごとに「000100」から開始し、100 ずつ増加することを基本とする。ただし、定義リンクと同等の構造が表示リンクベースファイルに定義されている場合、定義リンクベースファイルの連番を表示リンクベースファイルの連番に合わせる。また、{追番 3 桁}は、「000」を原則付与するが、同一目次に複数の詳細ツリーが関連する場合は、「001」から詳細ツリーの連番と同じ連番を付与する。

(追加)

新

法(current/non-current)／流動性配列法(order of liquidity)の別を表す(IFRS の財政状態計算書科目一覧以外については、当該区分は不要。)

図表 3-3-3 計算リンクベースファイル名

項目	命名規約
内閣府令(※1)	jp{府令略号}(-{報告書略号}) {連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_cal.xml ※2
財務諸表本表(※3)	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}) {タクソノミ日付}_cal_{諸表略号}(-{di|in}).xml ※4
パターンファイル	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}) {タクソノミ日付}_cal_{諸表略号}(-{di|in})-{パターン略号}.xml

※1:IFRS 財務諸表の注記事項も同様。

※2:{連番 6 桁}は、関係層の分割単位ごとに「000100」から開始し、100 ずつ増加する。また、{追番 3 桁}は、「000」を原則付与するが、同一目次に複数の詳細ツリーが関連する場合は、「001」から詳細ツリーの連番と同じ連番を付与する。

ただし、ファイル作成時点で拡張リンクロールに『フレームワーク設計書 3-3-5 関係リンクの拡張リンクロールに設定される番号』で規定される各拡張リンクロール番号が設定済みの場合は当該番号と一致させ、一意名とならない場合は追番 3 桁を付与する。

※3:IFRS 財務諸表の場合、jppfs が jpigp となる点を除き同様。

※4:di/in は、日本基準のキャッシュ・フロー計算書における直接法(direct)／間接法(indirect)の区別を表す(IFRS のキャッシュ・フロー計算書については、当該区分は不要。)。

旧

図表 3-3-3 計算リンクベースファイル名

項目	命名規約
内閣府令	jp{府令略号}(-{報告書略号}) {連番6桁}-{追番3桁}_{タクソノミ日付}_cal.xml ※1
財務諸表本表	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}) {タクソノミ日付}_cal_{諸表略号}(-{di|in}).xml
パターンファイル	jppfs_{業種略号}_{報告期間の別}{連結又は個別の別}(-{q|YTD}) {タクソノミ日付}_cal_{諸表略号}(-{di|in})-{パターン略号}.xml

(追加)

※1:{連番 6 桁}は、関係層の分割単位ごとに「000100」から開始し、100 ずつ増加する。また、{追番 3 桁}は、「000」を原則付与するが、同一目次に複数の詳細ツリーが関連する場合は、「001」から詳細ツリーの連番と同じ連番を付与する。

(追加)

(追加)

新

3-3-2 エントリーポイント

（略）

図表 3-3-7 エントリーポイント（DEI）

項目	命名規約
ファイル名	entryPoint_jpdei_{タクソノミ日付}.xsd
名前空間URI	http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/samples/jpdei_{タクソノミ日付}
名前空間プレフィックス	entryPoint_jpdei_{タクソノミ日付}

図表 3-3-8 エントリーポイント（国際会計基準タクソノミ）

項目	命名規約
ファイル名	entryPoint_jpigp_{タクソノミ日付}.xsd
名前空間URI	http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/samples/jpigp_{タクソノミ日付}
名前空間プレフィックス	entryPoint_jpigp_{タクソノミ日付}

旧

3-3-2 エントリーポイント

（略）

図表 3-3-7 エントリーポイント（DEI）

項目	命名規約
ファイル名	entryPoint_jpdei_{タクソノミ日付}.xsd
名前空間URI	http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/samples/jpdei_{タクソノミ日付}
名前空間プレフィックス	entryPoint_jpdei_{タクソノミ日付}

（追加）

新

3-4-1 提出者別タクソノミのファイル

提出書類に含まれる提出者別タクソノミのファイル名、名前空間プレフィックス及び名前空間 URI の命名規約について「**図表 3-4-1 提出者別タクソノミ(報告書)**」及び「**図表 3-4-2 提出者別タクソノミ(独立監査人の報告書)**」に示す。なお、報告書全体をタグ付けの対象とする場合も、財務諸表本表のみをタグ付けの対象とする場合も、提出する報告書全体を表す府令略号、様式番号及び報告書略号を使用する。日本基準財務諸表本表を表す「pfs」又は IFRS 財務諸表を表す「igp」は、使用しない。

図表 3-4-1 提出者別タクソノミ(報告書)

(略)

(削除)

図表 3-4-2 提出者別タクソノミ(独立監査人の報告書)

(略)

旧

3-4-1 提出者別タクソノミのファイル

提出書類に含まれる提出者別タクソノミのファイル名、名前空間プレフィックス及び名前空間 URI の命名規約について「**図表 3-4-1 提出者別タクソノミ(報告書)**」、「**図表 3-4-2 提出者別タクソノミ(IFRS)**」及び「**図表 3-4-3 提出者別タクソノミ(独立監査人の報告書)**」に示す。なお、報告書全体をタグ付けの対象とする場合も、財務諸表本表のみをタグ付けの対象とする場合も、提出する報告書全体を表す府令略号、様式番号及び報告書略号を使用する。財務諸表本表を表す「pfs」は、使用しない。

図表 3-4-1 提出者別タクソノミ(報告書)

(略)

図表 3-4-2 提出者別タクソノミ(IFRS)

項目	命名規約
スキーマファイル名	ifrs-{報告書略号}-{報告書連番(3桁)}_{EDINETコード}-{追番(3桁)}_{報告対象期間期末日}_{報告書提出回数(2桁)}_{報告書提出日}.xsd
名前空間URI	http://disclosure.edinet-fsa.go.jp/ifrs/{報告書略号}/{報告書連番(3桁)}/{EDINETコード}-{追番(3桁)}/{報告対象期間期末日}/{報告書提出回数(2桁)}/{報告書提出日}
名前空間プレフィックス	ifrs-{報告書略号}_{EDINETコード}-{追番(3桁)}
名称リンク(日本語)	ifrs-{報告書略号}-{報告書連番(3桁)}_{EDINETコード}-{追番(3桁)}_{報告対象期間期末日}_{報告書提出回数(2桁)}_{報告書提出日}_lab.xml
名称リンク(英語)	ifrs-{報告書略号}-{報告書連番(3桁)}_{EDINETコード}-{追番(3桁)}_{報告対象期間期末日}_{報告書提出回数(2桁)}_{報告書提出日}_lab-en.xml
表示リンク	ifrs-{報告書略号}-{報告書連番(3桁)}_{EDINETコード}-{追番(3桁)}_{報告対象期間期末日}_{報告書提出回数(2桁)}_{報告書提出日}_pre.xml
定義リンク	ifrs-{報告書略号}-{報告書連番(3桁)}_{EDINETコード}-{追番(3桁)}_{報告対象期間期末日}_{報告書提出回数(2桁)}_{報告書提出日}_def.xml
計算リンク	ifrs-{報告書略号}-{報告書連番(3桁)}_{EDINETコード}-{追番(3桁)}_{報告対象期間期末日}_{報告書提出回数(2桁)}_{報告書提出日}_cal.xml

図表 3-4-3 提出者別タクソノミ(独立監査人の報告書)

(略)

新

4-1-1 報告書インスタンスとマニフェストファイル

報告書インスタンスファイルとマニフェストファイルのファイル名について「**図表 4-1-1 報告書インスタンスとマニフェストファイル（報告書）**」及び「**図表 4-1-2 報告書インスタンスとマニフェストファイル（独立監査人の報告書）**」に示す。「header」をファイル名に含むファイルには非表示情報を定義する。なお、報告書全体をタグ付けの対象とする場合も、財務諸表本表のみをタグ付けの対象とする場合も、提出する報告書全体を表す府令略号、様式番号及び報告書略号を使用する。日本基準財務諸表本表を表す「pfs」又は IFRS 財務諸表を表す「igp」は、使用しない。

図表 4-1-1 報告書インスタンスとマニフェストファイル（報告書）

（略）

（削除）

旧

4-1-1 報告書インスタンスとマニフェストファイル

報告書インスタンスファイルとマニフェストファイルのファイル名について「**図表 4-1-1 報告書インスタンスとマニフェストファイル（報告書）**」、「**図表 4-1-2 報告書インスタンスとマニフェストファイル（IFRS）**」及び「**図表 4-1-3 報告書インスタンスとマニフェストファイル（独立監査人の報告書）**」に示す。「header」をファイル名に含むファイルには非表示情報を定義する。なお、報告書全体をタグ付けの対象とする場合も、財務諸表本表のみをタグ付けの対象とする場合も、提出する報告書全体を表す府令略号、様式番号及び報告書略号を使用する。財務諸表本表を表す「pfs」は、使用しない。

図表 4-1-1 報告書インスタンスとマニフェストファイル（報告書）

（略）

図表 4-1-2 報告書インスタンスとマニフェストファイル（IFRS）

項目	命名規約
インラインXBRLファイル名（本文）	{7桁数値}_{英字(6文字)}_ifrs-{報告書略号}-{報告書連番(3桁)}_{EDINETコード}-{追番(3桁)}_{報告対象期間期末日}_{報告書提出回数(2桁)}_{報告書提出日}_ixbrl.htm ※1
インスタンスファイル名	ifrs-{報告書略号}-{報告書連番(3桁)}_{EDINETコード}-{追番(3桁)}_{報告対象期間期末日}_{報告書提出回数(2桁)}_{報告書提出日}.xbrl

新

4-1-2 コンテキストの定義

（１）コンテキスト ID

コンテキスト ID の命名規約について「図表 4-1-3 コンテキスト ID 命名規約」及び「図表 4-1-4 コンテキスト ID 設定値」に示す。

図表 4-1-3 コンテキスト ID 命名規約

No	命名規約
1	{相対期間又は時点}{期間又は時点}((_{メンバーの要素名})×n)(_{連番3桁}) ※1

※1：ディメンションを使用する場合、該当するメンバーの要素名をコンテキスト ID の末尾に付与する。また、n は軸の数を表す整数であり、メンバーの数だけ「_{メンバーの要素名}」を繰り返す。なお、開示書類等提出者が拡張したメンバーを使用する場合は、「{メンバーの要素名}」を「{名前空間プレフィックス}{メンバーの要素名}」に置き換える。ただし、例外として、連番軸メンバーに関しては、開示書類等提出者ごとに異なった概念となる可能性がないことから、名前空間プレフィックスを不要とする。

連番 3 桁は、コンテキスト ID が重複した場合に「002」から開始する連番を付与する。

図表 4-1-4 コンテキスト ID 設定値

No	区分	設定値	説明
1	{相対期間又は時点}	CurrentYear	当年度を意味する。
2		Interim	中間期を意味する。
3		Prior1Year	前年度を意味する。
4		Prior1Interim	前中間期を意味する。
5		Prior2Year	前々年度を意味する。
6		Prior2Interim	前々中間期を意味する。
7		Prior{n}Year	{n}年度前を意味する。
8		Prior{n}Interim	{n}年度前中間期を意味する。
9		CurrentYTD	当四半期累計期間を意味する。
10		CurrentQuarter	当四半期会計期間を意味する。
11		Prior{n}YTD	{n}年度前同四半期累計期間を意味する。
12		Prior{n}Quarter	{n}年度前同四半期会計期間を意味する。
13		FilingDate	提出日を意味する。
14		RecordDate	議決権行使の基準日を意味する。
15		RecentDate(n)	最近日を意味する。 (n)は最近日が複数存在する場合に「2」から開始する連番を付与する。
16	{期間又は時点}	Instant	時点を意味する。
17		Duration	期間を意味する。
18	{メンバーの要素名}	メンバーの要素名	メンバーの要素名を意味する。

旧

4-1-2 コンテキストの定義

（１）コンテキスト ID

コンテキスト ID の命名規約について「図表 4-1-4 コンテキスト ID 命名規約」及び「図表 4-1-5 コンテキスト ID 設定値」に示す。

図表 4-1-4 コンテキスト ID 命名規約

No	命名規約
1	{相対期間又は時点}{期間又は時点}((_{メンバーの要素名})×n)(_{連番3桁}) ※1

※1：ディメンションを使用する場合、該当するメンバーの要素名をコンテキスト ID の末尾に付与する。また、n は軸の数を表す整数であり、メンバーの数だけ「_{メンバーの要素名}」を繰り返す。なお、開示書類等提出者が拡張したメンバーを使用する場合は、「{メンバーの要素名}」を「{名前空間プレフィックス}{メンバーの要素名}」に置き換える。

連番 3 桁は、コンテキスト ID が重複した場合に「002」から開始する連番を付与する。

図表 4-1-5 コンテキスト ID 設定値

No	区分	設定値	説明
1	{相対期間又は時点}	CurrentYear	当年度を意味する。
2		Interim	中間期を意味する。
3		Prior1Year	前年度を意味する。
4		Prior1Interim	前中間期を意味する。
5		Prior2Year	前々年度を意味する。
6		Prior2Interim	前々中間期を意味する。
7		Prior{n}Year	{n}年度前を意味する。
8		Prior{n}Interim	{n}年度前中間期を意味する。
9		CurrentYTD	当四半期累計期間を意味する。
10		CurrentQuarter	当四半期会計期間を意味する。
11		Prior{n}YTD	{n}年度前同四半期累計期間を意味する。
12		Prior{n}Quarter	{n}年度前同四半期会計期間を意味する。
13		FilingDate	提出日を意味する。
14		RecordDate	議決権行使の基準日を意味する。
15		RecentDate	最近日を意味する。
16	{期間又は時点}	Instant	時点を意味する。
17		Duration	期間を意味する。
18	{メンバーの要素名}	メンバーの要素名	メンバーの要素名を意味する。

新	旧
4-1-4 フットノートリンク フットノートリンクの設定について次の図表に示す。なお、フットノートリンクは日本基準財務諸表本表の値に対してのみ使用する。	**4-1-4 フットノートリンク** フットノートリンクの設定について次の図表に示す。なお、フットノートリンクは財務諸表本表の値に対してのみ使用する。

新

5-4 使用禁止文字

英語ラベルは、「**図表 5-4-1 英語ラベルでの使用可能文字**」に示すものを除いて原則使用を禁止する。また、「**図表 5-4-2 冠詞**」に示す冠詞については使用しないことを推奨する。なお、ラベルや要素名には不要な空白を含めない。

図表 5-4-1 英語ラベルでの使用可能文字

No	英語ラベルでの使用可能文字
1	A-Z
2	a-z
3	0-9
4	,（コンマ）
5	.
6	-
7	'（アポストロフィ）
8	空白
9	[ ]
10	/
11	()
12	:（コロン）
13	″（ダブルクォーテーション）

※:ただし、提出者が役員名を英語ラベルに設定する場合は、上の図表以外のラテン文字についても一部利用を許容する。追加の許容範囲は提出者別タクソノミ作成ガイドラインで定義する。

旧

5-4 使用禁止文字

英語ラベルは、「**図表 5-4-1 英語ラベルでの使用可能文字**」に示すものを除いて原則使用を禁止する。また、「**図表 5-4-2 冠詞**」に示す冠詞については使用しないことを推奨する。なお、ラベルや要素名には不要な空白を含めない。

図表 5-4-1 英語ラベルでの使用可能文字

No	英語ラベルでの使用可能文字
1	A-Z
2	a-z
3	0-9
4	,（コンマ）
5	.
6	-
7	'（アポストロフィ）
8	空白
9	[ ]
10	/
11	()
12	:（コロン）
13	″（ダブルクォーテーション）

（追加）

（追加）

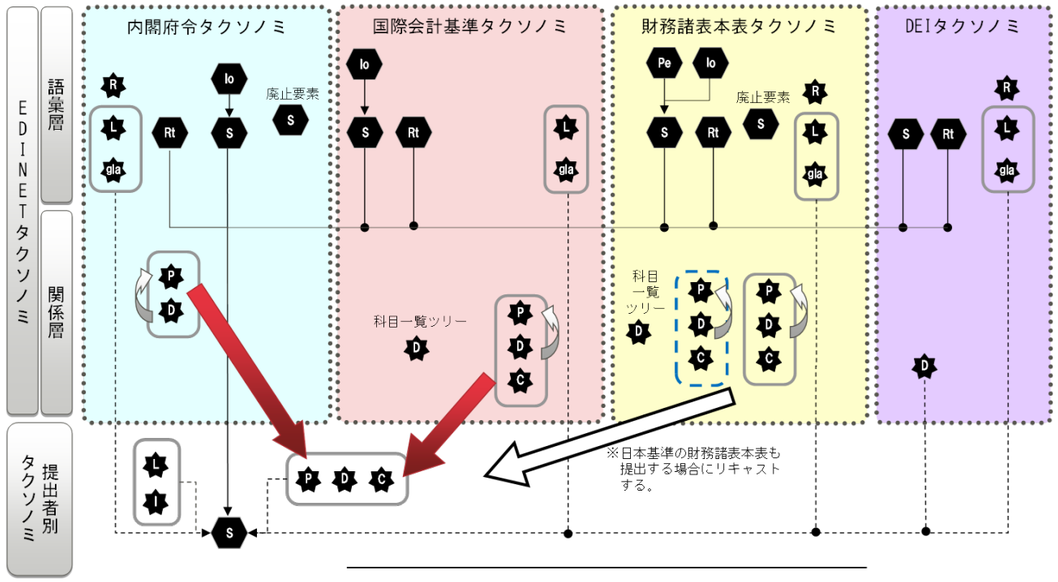
新

別紙２　タクソノミアーキテクチャ図

(4) IFRS 財務諸表を含む場合

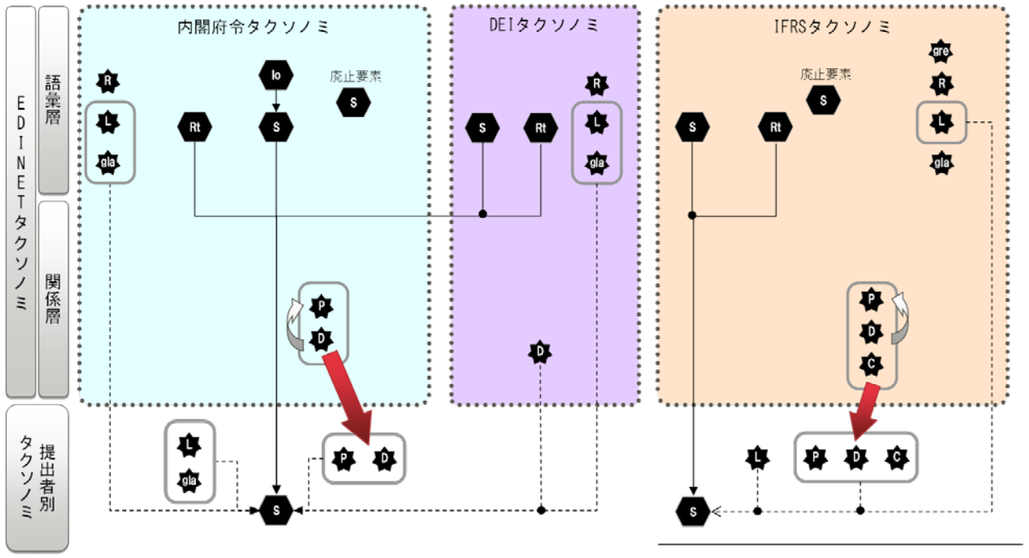
・内閣府令タクソノミ、国際会計基準タクソノミ、財務諸表本表タクソノミ及びDEIタクソノミを使用する。

・関係層はリキャストアプローチ、語彙層及びDEIタクソノミはリユーズアプローチによる提出者拡張を行う。



旧

別紙２　タクソノミアーキテクチャ図

(4) IFRS タクソノミを使用する場合

・内閣府令タクソノミ、IFRSタクソノミ及びDEIタクソノミを使用する。IFRSタクソノミとそれ以外の部分で提出者別タクソノミを分割する。
※日本基準の財務諸表本表を含む場合は、財務諸表本表タクソノミが必要。